



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 片倉工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3001 URL <https://www.katakura.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上甲 亮祐  
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 森 英明 (TEL) 03(6832)0229  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	13,218	△7.6	1,117	6.0	1,261	4.1	320	△55.7
2019年12月期第1四半期	14,307	0.9	1,053	35.5	1,212	29.3	723	28.7

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △3,350百万円(—%) 2019年12月期第1四半期 3,102百万円(329.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	9.14	—
2019年12月期第1四半期	20.63	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	134,588	80,747	42.1
2019年12月期	140,993	84,601	42.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 56,656百万円 2019年12月期 59,945百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	14.00	14.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,100	△0.4	1,800	△12.6	2,100	△17.6	400	△71.3	11.41
通期	41,600	△5.5	2,800	9.0	3,500	2.0	2,100	21.2	59.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期1Q	35,215,000株	2019年12月期	35,215,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期1Q	157,124株	2019年12月期	157,124株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期1Q	35,057,876株	2019年12月期1Q	35,055,497株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信「添付資料」P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初企業収益の改善が見られたものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、足下で大幅に下押しされ、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループは、2017年から5カ年を計画期間とする中期経営計画「カタクラ2021」において、「成長事業への転換」を基本戦略とし、その実現に向けグループ全体で取り組んでまいりました。

継続的に成長している不動産事業については、社有地開発や既存商業施設の再構築・鮮度維持・魅力度向上等に経営資源を振り向け、更なる成長を図ってまいりました。

医薬品事業では、ジェネリック製品のラインナップ拡充、販売・生産・研究にかかるコスト構造の更なる見直しにより収益基盤の確立に努め、機械関連事業の消防自動車事業では、採算性を重視した営業体制の構築や生産性の向上に継続して取り組んでまいりました。

また、繊維事業の実用衣料では、当社衣料品事業部門の大幅縮小と一部事業の連結子会社への譲渡を進めるとともに、付加価値の高い介護商品拡充により収益力の強化を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、機械関連事業において、消防自動車関連で減収となったこと、繊維事業において当社衣料品事業部門を縮小したこと等により、132億18百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

営業利益は、機械関連事業で消防自動車関連が減収ながら原価低減の取り組みが奏功し増益となったこと、当社管理部門の労務費が減少したこと等により11億17百万円（前年同四半期比6.0%増）、経常利益は12億61百万円（前年同四半期比4.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は当社における希望退職者への割増退職金の計上により3億20百万円（前年同四半期比55.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 不動産事業

不動産事業は、新型コロナウイルスの感染拡大により一部ショッピングセンターでテナント売上にかかる歩合賃料等の減により減収となりました。

この結果、売上高は25億11百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は9億72百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

#### ② 医薬品事業

医薬品事業は、2019年10月の薬価改定の影響はあったものの、経皮吸収型・β1遮断剤「ビソノテープ」等の販売増により増収となりました。この結果、医薬品事業の売上高は33億24百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。営業損益は薬価改定の影響により73百万円の損失（前年同四半期は60百万円の損失）となりました。

#### ③ 機械関連事業

機械関連事業は、消防自動車関連で、前期にODA向け車両及び電力会社向け車両の受注があった反動により減収となりました。この結果、機械関連事業の売上高は54億97百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。営業利益は消防自動車関連の原価低減の取り組みが奏功し5億33百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

④ 繊維事業

水溶性繊維等の機能性繊維が堅調だったものの実用衣料の肌着が低迷したこと、当社衣料品事業部門を縮小したことにより減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は14億59百万円（前年同四半期比14.8%減）、営業利益は労務費、物流費等の減により57百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

⑤ その他

その他の区分は、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等により構成されております。

前期8月に介護福祉機器事業、当期1・2月にはなびらたけ・高機能野菜の生産・販売事業から撤退した影響はあったものの、ビル管理サービスが好調に推移したことにより、その他の売上高は4億24百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業損益は16百万円の損失（前年同四半期は59百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,345億88百万円（前連結会計年度末比64億5百万円減、同比4.5%減）となりました。

これは、受取手形及び売掛金が増加したものの、仕掛品、投資有価証券が減少したことが主因であります。

(資産の部)

流動資産は、519億32百万円（前連結会計年度末比6億17百万円減、同比1.2%減）となりました。増減の主要な項目は、受取手形及び売掛金、仕掛品であり、受取手形及び売掛金が23億36百万円増加し、仕掛品が22億74百万円減少しました。

固定資産は、826億55百万円（前連結会計年度末比57億88百万円減、同比6.5%減）となりました。増減の主要な項目は、建物及び構築物、投資有価証券であり、それぞれ4億12百万円、53億92百万円減少しました。

(負債の部)

流動負債は、196億円（前連結会計年度末比1億14百万円増、同比0.6%増）となりました。増減の主要な項目は、支払手形及び買掛金、その他であり、支払手形及び買掛金は3億71百万円減少し、その他は4億93百万円増加しました。

固定負債は、342億40百万円（前連結会計年度末比26億66百万円減、同比7.2%減）となりました。増減の主要な項目は、長期借入金、繰延税金負債であり、それぞれ5億85百万円、19億59百万円減少しました。

(純資産の部)

純資産は、807億47百万円（前連結会計年度末比38億53百万円減、同比4.6%減）となりました。また、自己資本比率は42.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年3月25日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,825	27,921
受取手形及び売掛金	9,901	12,237
リース投資資産	5,051	5,030
商品及び製品	2,886	2,625
仕掛品	3,027	752
原材料及び貯蔵品	2,263	2,182
その他	1,601	1,202
貸倒引当金	△7	△20
流動資産合計	52,549	51,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,515	29,103
土地	16,458	16,458
その他（純額）	2,006	1,990
有形固定資産合計	47,979	47,552
無形固定資産	512	459
投資その他の資産		
投資有価証券	37,017	31,624
退職給付に係る資産	2,211	2,193
その他	756	860
貸倒引当金	△32	△34
投資その他の資産合計	39,952	34,644
固定資産合計	88,444	82,655
資産合計	140,993	134,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,634	5,262
短期借入金	3,572	3,543
1年内返済予定の長期借入金	1,525	1,525
未払法人税等	700	402
賞与引当金	322	651
役員賞与引当金	16	7
その他	7,712	8,206
流動負債合計	19,485	19,600
固定負債		
長期借入金	9,672	9,087
長期未払金	1,656	1,555
繰延税金負債	10,591	8,631
役員株式給付引当金	39	46
土壤汚染処理損失引当金	45	41
退職給付に係る負債	2,573	2,552
長期預り敷金保証金	8,989	8,986
資産除去債務	1,611	1,620
その他	1,727	1,718
固定負債合計	36,906	34,240
負債合計	56,392	53,840
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	332	332
利益剰余金	40,310	40,138
自己株式	△210	△210
株主資本合計	42,249	42,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,289	14,195
繰延ヘッジ損益	7	10
退職給付に係る調整累計額	398	373
その他の包括利益累計額合計	17,696	14,578
非支配株主持分	24,655	24,091
純資産合計	84,601	80,747
負債純資産合計	140,993	134,588

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	14,307	13,218
売上原価	9,774	8,976
売上総利益	4,532	4,241
販売費及び一般管理費	3,478	3,124
営業利益	1,053	1,117
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	115	138
その他	95	105
営業外収益合計	213	245
営業外費用		
支払利息	39	27
投資有価証券評価損	—	43
その他	16	29
営業外費用合計	55	100
経常利益	1,212	1,261
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	253	—
特別利益合計	255	—
特別損失		
固定資産処分損	43	—
割増退職金	519	994
特別損失合計	563	994
税金等調整前四半期純利益	904	266
法人税、住民税及び事業税	99	243
法人税等調整額	1	△393
法人税等合計	101	△150
四半期純利益	803	417
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	96
親会社株主に帰属する四半期純利益	723	320

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	803	417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,226	△3,740
繰延ヘッジ損益	△0	2
退職給付に係る調整額	72	△29
その他の包括利益合計	2,299	△3,767
四半期包括利益	3,102	△3,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,236	△2,797
非支配株主に係る四半期包括利益	866	△553

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	2,621	3,255	6,316	1,713	400	14,307	—	14,307
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	0	0	56	64	△64	—
計	2,628	3,255	6,316	1,713	457	14,371	△64	14,307
セグメント利益 又は損失(△)	1,049	△60	503	64	△59	1,498	△444	1,053

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、低カリウムメタス・はなびらたけの販売等のライフソリューション事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△444百万円には、セグメント間の取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△440百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	2,511	3,324	5,497	1,459	424	13,218	—	13,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	—	0	56	63	△63	—
計	2,519	3,324	5,497	1,459	480	13,282	△63	13,218
セグメント利益 又は損失(△)	972	△73	533	57	△16	1,474	△357	1,117

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等のライフソリューション事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△357百万円には、セグメント間の取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△353百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。